



# 波 濤

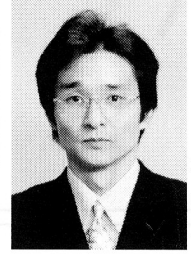
第 2 4 号

学 会 会 成  
会 同 窓 会  
大 同 窓 会  
送 神 奈 川 学 習 セ ン タ ー  
行 放 送 大 学  
発 行 編 集 者 五 十 嵐 一 成  
責 任 者 五 十 嵐 一 成  
日 平 成 1 4 年 9 月 2 2 日  
数 員 数 8 1 3 名 (平 成 1 4 年 9 月 2 2 日 現 在)

## 会長就任にあたって

より特色を活かした同窓会に

神奈川学習センター  
同窓会会長



五十嵐 一成

私はこの度、第十三回通常総会において伊東廣明前会長の後任として会長に選任されました。浅学非才ではありますが、皆様のご支援・ご教示を得ながら、同窓会の更なる発展のために役員一同と力を尽くしたいと存じますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。振り返りますと私と同窓会との関わりは同窓会準備委員会当時から十三年近くになります。同窓会発足からの六年間は事務局としての職務を学ぶことで精一杯でありましたが、大学教職員の方や同窓生の方々のご支援・ご指導に支えられて任期満了の退任を迎えることができました。また、退任後も放送大学、そして同窓会に関わることで、今の私が存在していることを考えますと、感謝の念を抱くだけではなく放送大学そして、同窓会の発展の一助になる働きかけをしていきたいと考えております。

今年で同窓会は創立十二周年を迎え、会員数は八十三名を有する会に成りました。私どもは、発足以来の目的である 一、会員相互の親睦 二、生涯学習の実践 三、社会への貢献 の三つの柱を掲げた活動をこれからも展開し、歴代役員・会員の方々の願ひである「魅力ある同窓会」であること、遠方からでも参加したいと思える総会や、企画を実行していきたいと考えております。

また、今後の課題として、身近な社会への貢献を模索していきたいと考えております。  
注  
放送大学同窓会は他大学に見られない特色を有しており、  
①同窓生の多くが卒業後も生涯学習を実践している。

②各分野で活躍されている人たちの集団である。

③利害関係を排し、職業、信条などの違いに捉われない集団である。

④老若男女を問わない、ヨコのつながりと年代を超えたタテの人間関係の両面において親交がある。このような特色を有する同窓会は、身近な社会の負託に応えていく力を充分に備えている集団であり同時に、社会からもそのように期待される存在であるのではないのでしょうか。具体的な活動については、顧問・教職員・会員の方々・相談役のご意見とご協力得ることで推進していきたいと考えております。これからも、役員一同、放送大学同窓生であることに誇りが持てるよう努めていきたいと考えております。皆様のご協力をお願い申し上げます。

注  
同窓会では社会への貢献活動のひとつとして、フォスター・プラン活動（発展途上国の子どもとその家族・地域に対する経済的・精神的援助を目的とする。活動は主にF・P実行委員会による。）に参加しております。これは、神奈川学習センター同窓会の大きな特色のひとつであり、今後も活動をして参ります。  
(詳細はF・P活動報告を、覧下さい。)

## 第十三回

### 通常総会報告

第十三回放送大学神奈川学習センター同窓会通常総会は、平成十四年五月十二日(日)午後一時から神奈川学習センター第八講義室において開催された。大花理事の司会により伊東会長挨拶、議長団及び書記団選出の後、次の議案が提出され審議された。

- 一、平成十三年活動報告
- 二、平成十三年度収支・決算報告及び監査報告

- 三、平成十三年度F・P活動報告
- 四、平成十三年度F・P収支・決算報告及び監査報告

- 五、平成十四年度活動計画(案)
- 六、平成十四年度収支・予算(案)
- 七、平成十四年度F・P活動計画(案)
- 八、平成十四年度F・P収支・予算(案)

九、放送大学神奈川学習センター同窓会会則一部改訂(案)

十、平成十四年度役員選任  
以上十件の議案は賛成多数で原案通り可決承認されました。

【総会成立の確認】  
会員総数 七五三名

(平成十四年三月三十一日現在)  
出席者数 三〇名 委任状数 二九六名  
合計 三二六名  
会則第十二条により総会は成立しました。

## 平成十四年度活動計画

本会は、会員の親睦 情報の交換 相互研鑽 社会への貢献 放送大学の発展に寄与すること、等を目的として、魅力ある同窓会となるよう次のことを行う。

- 一、講演会開催 五月十二日(日)  
(総会終了後)  
演題「産業空洞化と闘う中小企業」  
講師 神奈川学習センター所長 神代 和欣 教授  
(終了後、懇親会を開催)

- 二、見学会 七月十四日(日)  
キリン ビアビレッジ

- 三、八月二十五日(日)  
フェスタ横浜 共催

- 四、九月卒業祝賀会主催及び新規会員の募集活動実施

- 五、十月にハイキング or 見学会
- 六、十一月に同窓生による研究発表会

- 七、二月に映画鑑賞会
- 八、三月卒業祝賀会への参画及び新規会員の募集活動実施

- 九、役員会開催(年六〜七回予定)
- 十、会報「波濤」発行(年二回九月一日三月一日を予定)

- 十一、フォスター・プラン活動への参加
- 十二、その他  
放送大学同窓会連合会への参画

当同窓会では、「社会への貢献」の一環として、フォスター・プランに一九九九年一月より参加しています。

フォスター・プランは、特定の宗教・政治に関係のない国際援助機関(NGO)で、アジア・アフリカ・中南米で、子供を取り巻く環境改善を目的として、保険・衛生・居住環境・教育・人材・技術開発等多岐にわたるプロジェクトを実施するなどの地域開発を進めています。

フォスター・ペアレントから送られる援助金は、フォスター・チャイルドやその家族を支援するだけでなく、地域で実施するこれらのプロジェクトに役立てられています。

当同窓会では、会員の皆様からの寄付金を基に、フォスター・ペアレントとして現在五人のチャイルドを支援しています。今年度も引き続き以下の支援活動を行います。

一、フォスター・チャイルド五人への資金援助と文通などによる交流  
二、同窓会会員への募金活動  
(年一回「波濤」に振込用紙を同封)

三、講演会・勉強会の開催  
四、広報活動の促進  
参考資料(チャイルドの写真、手紙、成長記録など)のパネル展示

学習センター談話室  
「フェスタ・ヨコハマ」会場等  
会報「波濤」に活動報告を掲載  
チャイルドの母国大使館や関係機関との情報交換及び、チャイルド訪問の検討

六、実行委員会の開催

## 会計報告

### 平成13年度 収支決算報告

(平成13年4月1日～平成14年3月31日)

#### 1. 収支の部 (単位：円)

| 科目         | 予算額       | 決算額       |
|------------|-----------|-----------|
| (1) 前年度繰越金 | 3,799,722 | 3,799,722 |
| (2) 入会金    | 250,000   | 160,000   |
| (3) 年会費    | 753,000   | 630,000   |
| (4) 寄付金    | 10,000    | 20,235    |
| (5) 利子     | 2,500     | 601       |
| 本年度収入計     | 1,015,500 | 810,836   |
| 合計         | 4,815,222 | 4,610,558 |

#### 2. 支出の部

| 科目          | 予算額       | 決算額       |
|-------------|-----------|-----------|
| (1) 活動費     | 300,000   | 254,833   |
| 会報費         | 150,000   | 158,252   |
| 活動運営費       | 100,000   | 55,970    |
| 卒業祝賀運営費     | 50,000    | 40,611    |
| (2) 事務運営費   | 520,000   | 529,748   |
| 連合会会費       | 0         | 0         |
| 会議費         | 30,000    | 14,735    |
| 交通費         | 100,000   | 92,140    |
| 通信費         | 300,000   | 340,514   |
| 振替手数料       | 30,000    | 31,030    |
| 消耗品費        | 30,000    | 22,261    |
| 交際費         | 20,000    | 10,000    |
| 雑費          | 10,000    | 19,068    |
| (3) 会員名簿引当金 | 100,000   | 100,000   |
| (4) 予備費     | 100,000   | 62,080    |
| 本年度支出計      | 1,020,000 | 946,661   |
| (5) 次年度繰越金  | 3,795,222 | 3,663,897 |
| 合計          | 4,815,222 | 4,610,558 |

### 平成14年度 収支予算

(平成14年4月1日～平成15年3月31日)

#### 1. 収支の部 (単位：円)

| 科目         | 予算額       |
|------------|-----------|
| (1) 前年度繰越金 | 3,663,897 |
| (2) 入会金    | 250,000   |
| (3) 年会費    | 766,000   |
| (4) 寄付金    | 2,000     |
| (5) 利子     | 1,000     |
| 平成14年度収入計  | 1,019,000 |
| 合計         | 4,682,897 |

#### 2. 支出の部

| 科目            | 予算額       |
|---------------|-----------|
| (1) 活動費       | 350,000   |
| 会報費           | 200,000   |
| 活動運営費         | 100,000   |
| 卒業祝賀運営費       | 50,000    |
| (2) 事務運営費     | 605,000   |
| 連合会会費         | 0         |
| 会議費           | 30,000    |
| 交通費           | 100,000   |
| 通信費           | 370,000   |
| 振替手数料         | 35,000    |
| 消耗品           | 30,000    |
| 交際費           | 20,000    |
| 雑費            | 20,000    |
| (3) 会員名簿作成引当金 | 100,000   |
| (4) 予備費       | 100,000   |
| 平成14年度支出計     | 1,155,000 |
| (5) 次年度繰越金    | 3,527,897 |
| 合計            | 4,682,897 |

### フォスター・プラン

#### 平成13年度 収支決算報告

(平成13年4月1日～平成14年3月31日)

(単位：円)

| 科目           | 予算額       | 決算額       |
|--------------|-----------|-----------|
| 1. 前年度より繰越   | 845,401   | 845,401   |
| 2. 収入の部      |           |           |
| (1) 寄付       | 320,000   | 289,000   |
| (2) 同窓会より助成金 | 10,000    | 10,000    |
| (3) 貯金利子     | 200       | 327       |
| 本年度収入計       | 330,200   | 299,327   |
| 合計           | 1,175,601 | 1,144,728 |
| 3. 支出の部      |           |           |
| (1) 援助金      | 250,000   | 250,000   |
| (2) 活動費      | 10,000    | 0         |
| (3) 事務費      | 10,000    | 7,542     |
| (4) 通信費      | 10,000    | 5,080     |
| 本年度支出計       | 280,000   | 262,622   |
| 4. 次年度へ繰越    | 895,601   | 882,106   |
| 合計           | 1,175,601 | 1,144,728 |

### フォスター・プラン

#### 平成14年度 収支予算

(平成14年4月1日～平成15年3月31日)

(単位：円)

| 科目           | 予算額       |
|--------------|-----------|
| 1. 前年度より繰越   | 882,106   |
| 2. 収入の部      |           |
| (1) 寄付       | 320,000   |
| (2) 同窓会より助成金 | 10,000    |
| (3) 貯金利子     | 300       |
| 小計           | 330,300   |
| 合計           | 1,212,406 |
| 3. 支出の部      |           |
| (1) 援助金      | 300,000   |
| (2) 活動費      | 10,000    |
| (3) 事務費      | 10,000    |
| (4) 通信費      | 10,000    |
| 小計           | 330,000   |
| 4. 次年度へ繰越    | 882,406   |
| 合計           | 1,212,406 |

# 放送大学神奈川学習センター同窓会会則一部改訂

| 現 行  | 改 訂  |
|--|--|
| <p>第1章 総則<br/>(目的)</p> <p>第2条 本会は、会員の親睦と、情報交換及び相互研鑽並びに、放送大学の発展に寄与することを目的とする。</p>                           | <p>第1章 総則<br/>(目的)</p> <p>第2条 本会は、会員の親睦、情報交換、相互研鑽、社会への貢献並びに放送大学の発展に寄与することを目的とする。(改訂)</p>   |
| <p>第2章 会員<br/>(会員)</p> <p>第4条 本会の会員は、・・・・・・<br/>二 入会金及び年会費納入者</p>  | <p>第2章 会員<br/>(会員)</p> <p>第4条 本会の会員は、・・・・・・<br/>二 入会金及び年度会費納入者 (改訂)</p>  |
| <p>第3章 活動<br/>(活動目的)</p> <p>第5条 本会は、第2条の目的を達成するために・・<br/>四 会報及び会員名簿の発行<br/>六 その他、目的達成に必要な活動</p>            | <p>第3章 活動<br/>(活動目的)</p> <p>第5条 本会は、第2条の目的を達成するために・・<br/>四 会報の発行及び会員名簿の管理(改訂)<br/>六 フォスター・プラン活動(挿入)<br/>七 その他、目的達成に必要な活動(改訂)</p> |
| <p>第5章 役員<br/>(役員構成)</p> <p>第16条 本会に次の役員を置く。<br/>一 会 長 1名<br/>： ；<br/>五 監 事 2名</p>                         | <p>第5章 役員等 (改訂)<br/>(役員等の構成) (改訂)</p> <p>第16条 ※省略<br/>2 本会は役員のほか、次の者を置くことができる。<br/>六 相談役 若干名(追加)<br/>七 顧問 1名(追加)</p>             |
| <p>(役員選任)</p> <p>第17条 役員は総会において選任する。</p>   | <p>(役員等の選任) (改訂)</p> <p>第17条 役員は総会において選任する。・<br/>2 相談役は、同窓会役員経験者から役員会で選任する。(挿入)<br/>3 顧問は、神奈川学習センター長とする。(追加)</p>                 |
| <p>(役員職務)</p> <p>第18条 会長は、本会を代表し、・・・・・・</p>  | <p>(役員等の職務) (改訂)</p> <p>第18条 会長は、本会を代表し、・・・・・・<br/>6 相談役は、同窓会役員経験者から役員会で選任する。(追加)<br/>7 顧問は、学習センターと同窓会との連携を密にする。(追加)</p>         |
| <p>(役員任期等)</p> <p>第19条 役員任期は2年とする。但し、連続3期までは再任を妨げない。<br/>2 役員は、任期満了後であっても、後任者が就任するまではその職務を遂行しなければならない。</p> | <p>(役員任期等)</p> <p>第19条 役員任期は2年とする。但し重任を妨げない。(改訂)<br/>2 ※省略</p>   |
| <p>(経費)</p> <p>第21条 本会の経費は、入会費、年会費、寄付金及び雑収入をもってこれに充てる。</p>   | <p>(経費)</p> <p>第21条 本会の経費は、入会費、年会費、寄付金及び雑収入をもってこれに充てる。(改訂)</p>   |

※お詫びと訂正

総会にて配布した第9号議案 放送大学神奈川学習センター同窓会会則一部改訂(案)については印刷ミスがあり、次のとおり正誤を通知します。改めて、お詫びとご訂正をお願いいたします。

## 正 誤 表

| 正   | 誤  |
|---|--|
| <p>第5章 役員<br/>(役員等の構成) 改訂</p> <p>第16条 本会に次の役員を置く。<br/>： ；<br/>六 相談役 若干名(挿入)<br/>七 顧問 1名(挿入)</p> | <p>第5章 役員等 (改訂)<br/>(役員等の構成) (改訂)</p> <p>第16条 ※省略<br/>2 本会は役員のほか、次の者を置くことができる。<br/>相談役 若干名(追加)<br/>二 顧問 1名(追加)</p> |
| <p>(役員任期等)</p> <p>第19条 役員任期は2年とする。但し重任を妨げない。(改訂)<br/>2 (削除)</p>                                 | <p>(役員任期等)</p> <p>第19条 役員任期は2年とする。但し重任を妨げない。(改訂)<br/>2 ※省略</p>   |

# 神代所長の講演会

## 『身につまされる講演』

小山 佐枝子

通常総会後に行われた放送大学教授 神代和欣（神奈川県学習センター長）教授の講演は、身につまされる思いで聞き入ってしまった。

一九七三年以降円高、労働時間短縮のため、各企業は賃金の高い日本では製品作りができないため、安い賃金労働力を確保するために、外国に製造場所を移していった。講演の中で教授は川口市の須崎鋳造（鋳物）は中国の銀川工業に工場を移し、「みつば・エムテック社」は、ホンダの部品やスターター等をベトナムで作り、モルテン社はサッカーの公式戦で使うサッカーボールの芯部分はタイで、仕上げは中国で（手縫い）作っていると話された。製造業各社は、賃金の安い外国での製造に生き残りをかけ、国内での製造を止めたために国内では産業の空洞化が起こったとも話された。

各企業が争って外国での生産をしたために日本にとっても安い商品が津波のように入ってきた。私は30年ほど編物の技術を学び、教室を開き、生徒を教え、注文を受けてニット製品を作ってきたが、この津波にはとてもかなわない。苦勞して作るより買ったほうが早く安いからだ。日本人は作ることに楽しみを忘れてしまったのか。ベトナム、タイ、中国、タイワン等々から輸入されるとも安い商品を買ひ、あきるとほいと捨てるかガレージセルに出す。しかし、自分で作った物はなかなか捨てられないし、時として編みなおす。教授はまた、少子高齢化の話もされた。ニット業界もやはり同じ。技術を学ぼうとする人がいない。まさに高齢化である。昔は物は盗まれるが技術は盗まれないといわれたが、今は技術は盗まれるし、後か



《講演 神代和欣 所長》

らきて追い抜いてゆく。新しい編み方、新しい編み機、新しい糸、現代ファッションに合った一歩先を行くニット製品にチャレンジはしているが、後を継ぐ若い人は育たない。

今年度から公立小中学校でゆとり教育として、空き教室を使って地域の人々との交流を含めた、いろいろな企画が打ち出されているが、ニット業界にも各先生方を小中学校に派遣し、または大手のスパイやデパートでの手作りニット教室に出てもらい、若い人々にニット技術を教える企画が多くある。高齢化を防ぐためにも小中学生、若い人々に「作る楽しみ」を少しでも分かってもらうため私たちが力を尽くしている。

最後に企業の持っている技術をまるで違う方向に向けて成功している企業の話もされた。新潟の青芳製作所は「三二」という名で身体障害者用のスプーンや箸を作り、モルテン社は海洋（ヨット、養殖用のうき）、痛くない入れ歯、床ずれしないベット等に挑戦し、成果を上げている話をされた。さて、ニット業界はどうだろう。技術をどの方向に向けたらよりよい製品、社会に役立つ商品が創れるのだろうか。まずは私個人として模索してみようと思う。約2時間ほどの講演は私にとって刺激的で考えさせられる講演であった。

神代教授に感謝しつつ、明日からまたニット作りに精を出すことにしようと思う。

# 「キリン横浜ビアレッジ」

## 見学会に参加して

「人間の探求」専攻、

兼応用天文学教員

佐藤 英男

ビール工場見学会（七月十四日実施）のお誘いを受け、喜んで参加させていただいた。集合場所は京浜生麦駅である。

ここ生麦といえ、江戸時代、薩摩藩士がこの地で大名行列中、英国人貿易商数名がこの行進を乱したということで殺傷された、あの「生麦事件」を思い起こす。しかし、ここ横浜が国産ビール発祥の地であったとは知らなかった。

参加者は三〇名ほどであろうか。徒歩八分程度で目的地に到着した。会場では簡単なガイダンスをうけたあと見学会にはいった。ビールの歴史は古く紀元前二〇〇〇年頃に遡り、シユメール地方（現在のイラン、イラク）がその発祥地であるという。二階の見学通路からは、ビール製造工程順に並んだ装置（一階）の全容を大きなガラス越しに観ることができる。仕込み、発酵などの工程ラインの説明を聞きながら道順に沿って進むと、やがて、ぷんとビールの原料の香りが

周りを漂いはじめる。さらに貯蔵、ろ過、びん詰めなどの工程後出荷の運びとなる。この日は休日のため、残念ながらびん詰工程ラインはみられなかった。最後の「試飲コーナー」では、出来たてのビールが楽しめる。子供やビールを嗜めない人たちにはジュースまたはウーロン茶が用意されている。試飲会のあとにはここから僅かに離れたところにある会場で懇親会が用意されている。会場の中にある大部屋の一つは同窓会の貸切となっていて、会は佐々木さん（企画担当）の挨拶と乾杯で始まった。今回の見学会では、ビールの歴史を知り、原料から完成するまでの過程を観ることができた。特に「原料展示コーナー」



《ビールを味わう佐藤先生》

では直接原料に手をふれ匂いを嗅いでみた。これがあのビール独特の苦味、コク、香り、キレの源をかもしだしていることを知った。これらは日頃経験できないことなので新鮮な感動を受けた。このような生産工程を経たあと、あの美味しいビールが出来上がるのだと実感し、これらの過程を思い出しながら出来たての美味しいビールを味わえたことも大きな経験となった。が、それよりもややもすれば限られた社会でしか生きてこなかった私には、趣味や考え、職業の異なる多才な分野の放送大学同窓生にお会いでき、語り合えたことの方が大きなよるこびであり収穫でもあった。元気をもらえたと感じている。日頃、健康維持には適度な運動の持続も大事であるが、それだけではなく、仕事と直接関係のない何かに趣味や関心を持ち、多くの友と自由に、しかも積極的に語り合う精神行動の大切さを学んだ気がする。ここに同窓会長の五十嵐さんはじめ、今回の見学会を企画された担当者、同窓会の皆さんにお礼を述べたい。

# 特集

## 放送大学大学院

### 大学院「レポート报告会」の効用

助教授 坂井 素思

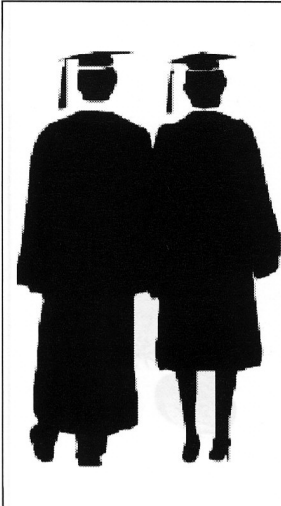
最後に、最高のご馳走を食べるためには料理の下拵えが重要です。このことは、放送大学大学院の修士論文作成にも当てはまります。指導教官について研究指導を続け、二年間で修士論文を仕上げますが、そのために毎学期毎に一本ずつレポートを作成する必要があります。

このレポート作成のために、先日七月二〇日放送大学大学院「政策経営プログラム」の経済学分野に関する「レポート报告会」を、幕張にあるセミナーハウスで行いました。北は北海道から南は宮崎まで、日本国中のあちこちから大学院生たちは集まってきました。一人ずつ持ち時間を決め、順番にしたがって発表を終えていきます。最初は緊張していた学生たちも次第に雰囲気慣れ、真剣な議論のなかにも冗談が飛び交うようになりました。

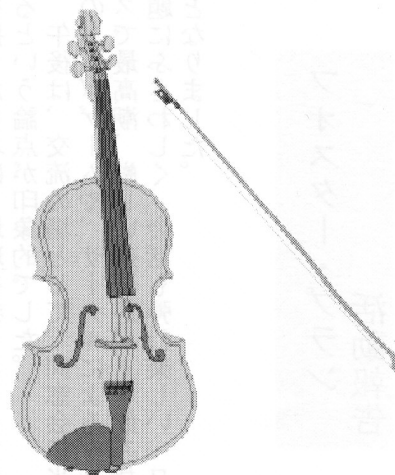
このようなレポート报告会を行うメリットがいくつかあります。第一に、修士論文での問題意識を、自分の意識のなかでより明確なものにすることができるとです。それまで曖昧であったことが、発表しなければならぬという必要性のために、明確なアイデアに洗練されます。また、自分のなかでははつきりしていても、説明用に行きたくないためほかの人には伝わらないことがあります。これも改善されるかもしれません。もっとも、このような自分自身の努力でどうにかなることであれば、研究会を開く必要はないといえます。ほかのメンバーと会う長所は、本当のところ、どこにあるのでしょうか。

第二のメリットは、ほかの参加者のアイデアから何らかのヒントを得ることができる点です。自分では考えもつかなかったような工夫が、ほかの人の話のなかから得られる場合があります。もっとも、ここではテーマの直接の内容について情報が得られ、それを模倣する場合よりは、むしろ表現の方法や、筋立ての工夫などのヒントを得られることのほうが多いと思われます。「傍目八目」という言葉がありますように、第三者として傍目で見たほうが、事の良し悪しが明瞭にわかる場合が多いといえます。ほかの発表者達を比較して、どこが良くどこが悪いかを比較し評価することが、自分の論文にとっても良い効果を及ぼすこととなります。

第三に、最も重要なメリットは、発表を聴く「聴衆」がいるという点です。プレゼンテーション、つまり表現というところが今日重要視されていますが、このことが重要視される理由のひとつは発表者と聴衆との間にそれぞれに働く「想像力」がここで見られるからです。発表者は聴衆がどのような反応を示すかを想像しながら、発表を行う義務を負いますし、聴衆は興味深い内容であれば共感をもって肯きますし、もし面白くないければおしやべりを以って報いることとなります。発表をめぐる反応が、その研究会の成否を決めます。その意味で、発表者にとつては、聞いてくれる人の反応が参考になります。発表のどこにどのような表現を使えば、より説得的な表現になるのかを報告会や研究会では確かめることができるのです。



今回の報告会はまだ出発点に立った段階のもので、以上のようなメリットが発揮されるかどうかは定かではありません。けれども、今後研究会を積み重ねるなかで、これらの、あるいはこれ以上のメリットが見つけられ、研究会・報告会がさらに意義のあるものになることを望んでいます。このような新たな試みは、放送大学の教養文化をより深いものにするためにも必要なものであると思います。同窓会の皆様にも、このような試みに対して、深い理解をお願いするとともに、ぜひ参加くださいますようお願い申し上げます。



### パソコン初心者奮闘記

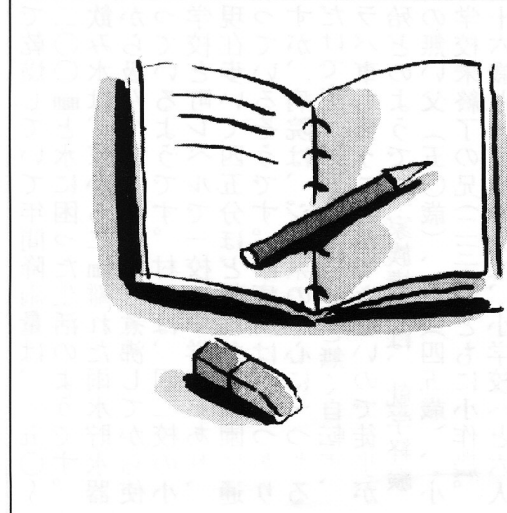
文化科学研究科 文化科学専攻  
総合文化プログラム  
越川 敏子

大学院に入学するときには、のんびりと五年計画でいいと思っていたのが、どうもそれでは済まなくなり、おまけにWordによるデータ収集、Excelによる研究指導教員との対話など、パソコンの操作能力が不可欠と「研究指導」履修の手引きに書かれてあったのです。今まではワープロで済ましていたのですが、必修では仕方がないと、急いでパソコンを買い込み、入門書と首っ引きで練習を

始めたのですが、失敗続きで時間ばかりかかり、徹夜でいじくりまわしているうちに、パソコンにすっかり嫌われて、起動しなくなってしまう。メーカーにSOSを出して、受話器を片手にHome-Stationしたのですが、データの保存がしなかつたので、殆ど出来上がっていたレポートが全部消えてしまい、泣きたくなりました。

これではレポートの締め切りまでに間に合いそうもないと、近くのパソコン教室をのぞいてみたのですが、初歩から順を追って勉強すると、いま私が必要としている「編集」の段階まで到達するのに、二、三ヶ月はかかってしまいそうなので諦めました。

でも、なぜマニュアルってこんなに分かり難いものなのでしょう。きつと、書いている人が分かりすぎているので、「分からないこと」が分からないのでしょね。それに折角のQ&Aが、パソコンの画面上で見えるようになっていたので、とても見難いのです。



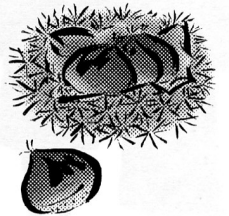
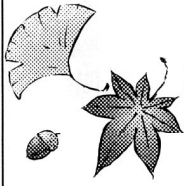
私の生涯学習について

文化科学研究科 修士科目生 鈴木信之

春の、神奈川学習センター「入学者の集い」式典の日は、晴天に恵まれ、沿道の八重桜が見事に咲いているのを目にして、好きな「短歌」を、詠まずにはおれませんでした。

昨年定年退職以来、「これからのライフワークをどの様に」と考えていましたところ、毎日が日曜日となり得られた時間を「フルに活用する」という単純な思いで、十五教科にチャレンジしています。地域的にラジオのFMが入りにくく、正確なリポート提出条件を整えるため、学習センターへ半月程通いました。生来、不器用な私は、一つのことを納得のいくまで、やり通す性格ですが、還暦を迎えて、体力、記憶等の維持が難しくなる中で、効果ある学習の仕方をどのように進めていったらよいかと、自問自答で「少々欲ばったカナ」という感じがしないうちもありません。

大学の校友会等に積極的に参加しながら、お互いに情報交換をすることも、意欲を湧き立たせる一つの方法かもしれません。また、情報交換の中では、メディア機器に精通の方もおられ、学習効果を上げる使い方は参考になります。人それぞれ、いろいろな人生があり、自分自身前向きに生涯学習を続け、心豊かな日々を送られることを「最高の幸せ」と考えています。



放送大学大学院

修士科目生として

文化科学研究科 修士科目生 大泉 トク

本年度から始まった大学院の臨床心理コースの科目生として受講した。臨床心理コースは、臨床心理実習や臨床心理基礎実習等、心理臨床家の養生を目的としており、修士全科生となるには高い倍率をクリアしなくてはならない。それだけ目的意識の明確さが求められているように思われる。

修士科目生は、学問としてのより深い専門知識の習得、とりわけ放送大学の学生に多い生涯学習としての学問への取り組みがあるようである。それだけに大学院での勉強は、教材の勉強だけでなく多くの参考文献の学習が求められる。通信指導のレポートでは、自分としての課題への取り組み方・視点が重視される。

臨床心理プログラム科目は、現在生起しているヒトを取り巻く環境・社会心理・家族臨床心理等広範な領域であり、不透明さを増す現代社会のストレスによる心の危機・乳幼児期から老年期に至る各発達段階での不適応による心のストレスにどう対処するか、専門的な学問である。

私個人としては子育ても終え、家族システム論的には問題を多く含む二世帯同居である。自身の子育ての経験と反省も含めて、また孫の世代に対しても、これから学習する事は大変意義のある事と考えている。

フェスタ・ヨコハマ

八月二五日(日)恒例の学園祭が行われました。午前は、フォスター・チャイルド「ソムチャイ君の村訪問」のビデオが放映され、タイののどかな風景の中の生活や、募金が活用されて卒業したソムチャイ君が、僧侶になったことを知りました。続いて、森谷正規教授が「社会需要が日本を救う」と題して講演され、エネルギー、廃棄物処理、ヒートアイランド現象、社会サービス向上の諸問題に、様々な技術を応用すれば需要が増えること、技術文明を進め、地球を潰す一端を担った日本は、地球を救うこともできるという論点が印象的でした。

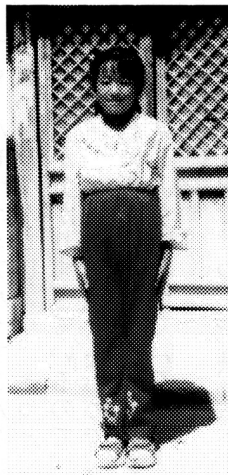
午後は、交流の場として、同窓会担当のビンゴゲームや、サークルによるダンスで最高潮、厳しい残暑がビール飲み放題にふさわしく、会話も弾む楽しい一日となりました。

フォスター・プラン

活動報告

フォスター・プラン実行委員会

ソムチャイ君(九二年九月より支援)が学校を卒業し支援地域外へ引越越し、援助できなくなったため、今年の五月より新しいチャイルドを支援することになりました。名前は、HAMMIRON(ハミロン)ちゃらん一九九一年五月二四日生まれの子です。住んでいるところは、中国シア県から約七〇km北西にあるファン・ターと言う山間の町です。この町には、二四の村があり、人口九〇〇〇人。気候は温暖



乾燥していて年間降雨量は、一五〇(二〇〇mm)と水に困った生活のようです。飲み水は、家から二km離れた雨水貯水器から汲んできて十分ほど煮沸してから使っているようです。村には、四二校の小学校と町レベルで一校の中学校があり、現在歩いて四五分ほど離れた幼稚園に通っているそうです。診療所は、六つありますが、病院は、シア県の中心の一つあるだけです。交通手段は、殆ど無く自転車、ラバ車も買うことができないので徒歩が殆どです。家族構成は、就学経験の無い父(五〇歳)、母(四五歳)、小学校未終了の兄(三歳)ともに小作農。十六歳と一五歳の兄は、小学校へと六人家族です。

簡単にプロフィールを紹介しました。

これからも支援を続けますので宜しく、お願いします。

〈フォスターチャイルド プロフィール〉

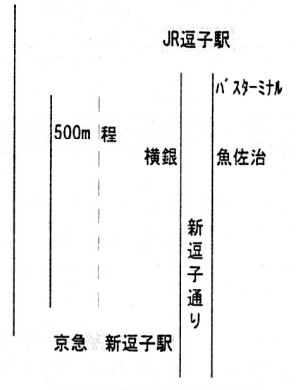
| チャイルド名     | 性別 | 生年月日       | 年齢  | 国籍      | 援助開始年    |
|------------|----|------------|-----|---------|----------|
| ルーシー・ワンジク  | 女  | 1989.04.15 | 13歳 | ケニア     | 1993. 12 |
| パロ・バラ      | 女  | 1985.02.10 | 17歳 | バングラデシュ | 1996. 12 |
| レオニダス・ラミレス | 男  | 1993.10.01 | 8歳  | エクアドル   | 1998. 12 |
| ラビ・ナリゲ     | 男  | 1993.10.05 | 8歳  | インド     | 2000. 09 |
| ジェンメイ・ドアン  | 女  | 1991.05.24 | 11歳 | 中国      | 2002. 05 |

## 1. 披露山公園・浪子不動 渚ウオークへのお誘い

今回は海と山が満喫できる逗子へ小ハイキングしてみませんか  
披露山公園からは 逗子市街地、江ノ島、相模湾の海岸線、富士山、伊豆大島などが一望できる  
展望豊かな景勝地（かながわ景勝50選）です。また園内には、猿や鳥類なども飼育されていま  
す。

浪子不動ハイキングコースは、山のしぼり水の小川のある、雑木林の中を20分程の森林浴を  
楽しみながら下ると、海の中に徳富蘆花の小説にちなんだ不如帰の碑が見えてきます。  
運動靴など、歩きやすい靴で、さあ、歩きましょう！

日 時： 平成14年10月20日（日）小雨決行  
集合場所： JR 逗子駅 東口改札 13:00集合 13:10出発  
コース： JR 逗子駅～披露山公園～浪子不動ハイキングコース（4.5k程）



## 2. 放送大学同窓生による体験発表

昨年に続き、同窓生による体験発表をいたします。  
今回は、片岡久雄氏と坪井英子氏にお願いしました。

片岡氏は、さかのぼること46年前に南極観測船「宗谷」に乗船していた貴重な体験を、坪井氏には、元心臓外科病棟看護婦として多くの患者を看取り、現在は葬送支援アドバイザーとして数多くの葬儀の立ち合いをしてきた中で体験なされたことをお話くださいます。

友人、知人をお誘いの上、是非 是非お出掛け下さい。  
日時：平成14年11月10日（日） 13時～16時  
場所：神奈川学習センター 第8講義室  
演題：以下のとおり

片岡久雄氏

「第一次南極観測隊の輸送業務について」

- 1：南極観測の概要
- 2：砕氷船「宗谷」の概要
- 3：南極地域への航海概要

坪井英子氏

「ご自分の死に方、考えたことがありますか？」

- 1：葬儀にまつわる話
- 2：遺言を残すことの大切さ  
～後に残された人へ～
- 3：ご自分の葬儀を考えてください

## 3. 映画のお話と鑑賞会のお知らせ

昨年好評のため第2回目です。来年2月のことですので是非手帳にメモなどなさって忘れずに来て  
くださいネ。多くの方のご参加 心よりお待ちしております。

- 1 お話 : 「映画の世界」～楽しいですね映画は！～  
懐かしい名画や最近の映画から人生模様あれこれをお話下さいます。
- 2 映画鑑賞： 「クラディエーター」2000年 アメリカ映画  
監督 巨匠 リドリー・スコット 主演 ラッセル・クロウ
- 3 日時 場所：平成15年2月23日（日）13:00～16:30  
学習センター第8講義室
- 4 講師：横浜映画研究会会員 西浦久晏氏（放大同窓生）



このページについてのお問合せはすべて 大花 0468-66-2195 佐々木 045-472-6482 まで

# 各同窓会の動き

当学習センター同窓会の行事以外にも参加して、他の同窓生とも交流を深めてみませんか。秋の行事をご紹介します。

詳細は、総務  
佐藤 045 (804) 0515  
または、各センター同窓会へお問合せください。

【東京世田谷(東京第一)】

<http://member.nifty.ne.jp/audosokai/tokyo%20setagaya.htm>

①【第十六回下馬祭】十月六日(日)メインイベントは「パール博士のビデオ映写と講演会」(博士ゆかりの方)本場インドカレーの提供もあり。

②【秋の日帰り旅行】十月十九日(土)田谷の洞窟・満福寺・江ノ島散策費用各自負担、申込十月十二日迄片桐 0426 (25) 6076

③【澄登庭園散策と「東京水辺ライン」】十二月七日(土)費用(船代)二千元 振込で申込、十一月八日迄、問合わせ、同片桐

【東京文京(東京第一)】

<http://home.att.ne.jp/surf/tky2-doso/>

【都心千代田区散策と見学】十月二十日(日)昭和館・遊就館千鳥ヶ淵戦没者墓苑・東京国立近代美術館工芸館、費用二五〇〇円(昼食代込み)申込十月十日迄 安部 03 (3910) 0370

【群馬】

<http://www.asahi-net.or.jp/~sn5w-kwkm/>

【甘楽町七福神めぐり】十一月一七日甘楽郡甘楽町小幡七福神めぐりおよび織田の城下町小幡散策集合 1元高崎駅東口交番付近 午前9時集合・費用二〇〇〇円(昼食代含む)

申込 希望者は十月三〇日迄 飯田 0276 (45) 3002

【放送大同窓会学連合会】

<http://member.nifty.ne.jp/audosokai/>

【東京足立】

<http://member.nifty.ne.jp/audosokai/tokyo%20adachi.htm>

【長野】

<http://www.valley.ne.jp/~h-yu-da/dousou/>

【神奈川】

公式ホームページはありませんが、神奈川学習センターのホームページはこちらです。

<http://u-air.net/kanagawa/> 大学インフォメーション・面接授業紹介・センター日より・掲示板などコンテンツが充実しています。

# 平成十四年度役員

「同窓会役員」

会長 五十嵐一成  
副会長 片岡久雄・田澤誠一  
事務局長 片野克巳  
理事 大泉トク・大花幸子  
理事 尾澤昌子・葛西政記  
理事 佐々木順子・佐藤美津留  
理事 竹中司朗・和合明  
理事 伊藤靖史・福島三郎  
理事 元山由喜夫  
監事 松岡和正・龍造寺寛

「退任役員」

伊東廣明 藤井輝  
小山佐枝子 出口仁美  
飯塚佳子  
(皆様長い間ご苦勞様でした)  
「フオスター・プラン実行委員」  
五十嵐一成・伊東廣明・田澤誠一  
藤井輝・星礼子・松岡和正  
森西節子

# 訃報

次の方々の訃報がご家族からありました。

佐久間 国吉様  
寺東 良一様  
安部 一男様  
伊吹 マサ様  
茲に、謹んでご冥福を  
お祈り申し上げます。  
合掌

# 編集後記

型破りの猛暑・ヨーロッパの大洪水など地球環境により大きな不安をもたらした今年の夏です。気のせいかもしれませんが、庭で脱皮した蟬が大きな木まで飛べず芝生に落ちていたのも、ヒートアイランド現象でしょうか。この度全くの新人二名が、波涛編集に加わりました。経験者から学びつつ、精一杯良い誌面作りに努力したいと存じます。乞うご協力を(M・S記)

# 会計・事務局からのお願い

神奈川学習センター同窓会では、会員の皆様に、入会時に入会金5,000円、年度会費として1,000円を納入して戴いております。「波涛」と同封の振込み用紙で、平成14年度年会費をお振込み下さいますようお願いいたします。(過年度分未納の方はご一緒にお振込み願います) なお、総会時に質問が出ました現金での納入もお受けいたしますが、その折は同封の振込み用紙をぜひお持ち下さいますようお願いいたします。

住所変更の場合、変更後の住所・電話番号を振込み用紙に書くのみでは変更手続きにはなりません。必ず、「住所変更」の旨、添え書きして下さいますようお願いいたします。

※振込み用紙に住所氏名を記入の際、恐れ入りますが判り易い楷書で、また、読み違いそうなお名前には、フリ仮名をつけていただきたく、お願い申し上げます。

口座番号 00250-4-16183  
〒232-0061  
横浜市南区大岡2-31-1  
放送大学神奈川学習センター内  
同窓会事務局

